



「モルエラニの霧の中」の中間報告試写会で、あいさつする坪川監督と濱長君

# 水族館で撮影、冬の章初上映

西胆振を舞台に撮影しているオムニバス映画「モルエラニの霧の中」(坪川拓史監督)の中間報告試写会が26日、室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院がん診療センターで開かれ、3月に市立室蘭水族館で撮影された冬の章を初上映した。会場には映画の完成を心待ちにする市民ら約200人が足を運んだ。

上映されたのは夏の章「静かな空…港のななし」と冬の章「水色の少年…水族館のななし」。冬の章は、水族館のクラゲ担当職員と市内の団地に引っ越してきた少年の物語。会

## 「モルエラニの霧の中」中間報告試写会 ～室蘭～

場では、坪川監督がアコーディオンで映画の効果音を演奏した。

試写会後は、冬の章に出演した市民キャストの濱長卓生君(八丁平小学校3年)があいさつに立った。10月から始まる撮影にも参加することから、来場者に「また会いましょう」と呼び掛けた。

室蘭市港北町の会社員、佐藤諒さん(23)は「徐々に完成に近づき、点と点がつながってきている。今後が楽しみです」と笑顔で話した。

映画は来春完成予定。坪川監督は「4年半かかりましたが、応援していただいた皆さんのおかげでここまで来ることができました」と感謝の思いを口にした。(林帆南)